

研究機関：広島大学

<p>研究課題名</p> <p>対側閉塞を伴う内頸動脈狭窄症に対する Dual protection 下での頸動脈ステント留置術の安全性の検討</p>
<p>研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 講師 坂本 繁幸</p>
<p>研究期間 2021年8月2日(倫理委員会承認後)～2022年6月1日</p>
<p>対象者</p> <p>2011年7月から2021年4月の間に、広島大学病院脳神経外科で Dual protection 下での頸動脈ステント留置術(CAS)を施行した患者さんを対象とします。</p>
<p>意義・目的</p> <p>対側閉塞を伴う内頸動脈狭窄症に対する CAS に対して、遠位塞栓予防を目的とした protection 方法はいまだ確立されておられません。当院では distal protection と proximal protection を組み合わせた Dual protection 下での CAS を施行しており、上記治療方法による、対側閉塞を伴う内頸動脈狭窄症例での治療の安全性を示すことを目的としています。</p>
<p>方法</p> <p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、既往歴、内服歴、画像検査結果、手術記録、術後転帰です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
<p>共同研究機関</p> <p>特にありません</p>
<p>試料・情報の管理責任者名</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 講師 坂本 繁幸</p>
<p>個人情報の保護について</p> <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
<p>問合せ・苦情等の窓口</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5227 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 講師 坂本 繁幸</p>